

令和4年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

(令和3年度事業対象)



令和4年7月

菊川市 教育委員会

目 次

	ページ
1 教育委員会の点検・評価について	
1) 趣旨	2
2) 点検・評価の対象	2
3) 点検・評価シートの構成	2
4) 学識経験者の知見の活用について	3
5) 公表について	3
2 教育委員会の活動及び運営状況報告	
1) 教育委員会委員構成	4
2) 令和3年度教育委員会審議状況	5
(1) 菊川市教育委員会審議案件	5
(2) 菊川市教育委員会報告事項	7
3) 令和3年度教育委員会議以外の活動報告	8
3 自己点検・評価シート	
1) 教育委員会の活動「シート1」	10
2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」	11
3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」	12
こども政策課 事務事業評価	13
学校教育課 事務事業評価	17
教育総務課 事務事業評価	25
社会教育課 事務事業評価	30
図書館 事務事業評価	46
4 学識経験者の意見	
1) 外部評価	53

1. 教育委員会の点検・評価について

1) 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられました。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和3年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

3) 点検・評価シートの構成

① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

令和3年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

法第21条の規定に基づき、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に、令和3年度における各事務の対応状況等について点検評価を行いました。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課及び教育委員会の権限に属する事務の一部を補助執行する担当課が扱う施策ごとに体系図と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条第2項の規定による「学識経験等を有する者の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

外部評価依頼者

	職 名		氏 名	対象事務事業
1	教育委員	元教育長職務 代理者	松下 彰	教育委員会活動、学校教育等
2	〃	元委員	佐々木和宏	〃
3	教育文化部	元部長	栗田 正弘	教育委員会活動、幼児教育等
4	社会教育委員	委 員 長	中 嶋 り 子	社会教育、文化振興・生涯学習
5	小中 PTA 連絡協議会	前 会 長	増田謙太郎	学校教育
6	子ども会連合会	前 会 長	石 寄 茂 樹	社会教育
7	文化協会	会 長	伊 藤 芳 男	文化振興・生涯学習
8	文化財保護審議会	会 長	北 原 勤	文化財
9	横地城跡保存会	会 長	福 井 淳 一	〃
10	スポーツ推進委員	委 員 長	安 藤 正 樹	スポーツ振興
11	NPO法人体育協会	会 長	岩 水 素 江	スポーツ振興・生涯学習
12	スポーツ推進審議会	副 会 長	服 部 茂 和	スポーツ振興
13	図書館協議会	副 会 長	曾 根 金 美	図書館
14	給食センター運営委員会	前委員長	鈴木 真規	学校給食
15	〃	前副委員長	沖 真理	〃
16	公立幼稚園	元 園 長	山下 洋子	幼児教育
17	公立認定こども園	元 園 長	久島喜久江	〃

5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁や小笠支所、菊川文庫、小笠図書館に報告書を置き、閲覧できるようにいたします。

2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

1) 菊川市教育委員会 委員構成

令和3年4月1日現在

職名	氏名	任期	
教育長	松本 嘉男	任期 教育長任期	H31.2.10～R4.2.9 H31.2.10～R4.2.9
委員 (教育長職務代理者)	松下 彰	任期 職務代理者任期	H30.2.10～R4.2.9 H28.2.10～R4.2.9
委員	笹瀬 昌子	任期	H31.2.10～R5.2.9
	岡本 直彦	任期	R3.2.10～R7.2.9
	伊藤 りさ	任期	R2.2.10～R6.2.9

令和4年2月10日現在

職名	氏名	任期	
教育長	松本 嘉男	任期 教育長任期	R4.2.10～R7.2.9 R4.2.10～R7.2.9
委員 (教育長職務代理者)	赤堀 ひとみ	任期 職務代理者任期	R4.2.10～R8.2.9 R4.2.10～R7.2.9
委員	笹瀬 昌子	任期	H31.2.10～R5.2.9
	岡本 直彦	任期	R3.2.10～R7.2.9
	伊藤 りさ	任期	R2.2.10～R6.2.9

2) 令和3年度 菊川市教育委員会審議状況

(1) 菊川市教育委員会 審議案件

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
1	菊川市就学支援委員会委員の委嘱について	4月20日	定例会	学校教育課
2	令和3年度菊川市立小・中学校主任等の任命について	4月20日	〃	学校教育課
3	菊川市公立学校評議員の委嘱について	4月20日	〃	学校教育課
4	菊川市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
5	菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
6	菊川市スポーツ推進委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
7	菊川市スポーツ委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
8	菊川市文化財保護審議会委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
9	菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について	4月20日	〃	社会教育課
10	菊川市立図書館協議会委員の任命について	4月20日	〃	図書館
11	菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について	4月20日	〃	図書館
12	菊川市幼稚園評議員の委嘱について	4月20日	〃	こども政策課
13	準要保護世帯の認定について	5月18日	定例会	教育総務課
14	菊川市菊川文化会館アエル運営委員会委員の委嘱について	5月18日	〃	社会教育課
15	菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について	5月18日	〃	社会教育課
16	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	5月18日	〃	教育総務課
17	令和3年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	5月18日	〃	教育文化部
18	準要保護世帯の認定について	6月15日	定例会	教育総務課
19	菊川市文化振興計画推進委員会設置要綱の一部改正について	6月15日	〃	社会教育課
20	令和4～6年度使用中学校教科用図書(社会 歴史的分野)の採択について	7月20日	定例会	学校教育課
21	菊川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	7月20日	〃	学校教育課
22	準要保護世帯の認定について	8月18日	定例会	教育総務課
23	令和3年度 指定学校変更について	8月18日	〃	学校教育課
24	令和3年度一般会計補正予算(第4号)(案)について	8月18日	〃	教文・こ未部
25	令和3年度 教育委員会の自己点検・評価報告書について	8月18日	〃	教育総務課
26	学校薬剤師の委嘱について	9月16日	定例会	学校教育課
27	令和3年度一般会計補正予算(第6号)(案)について	9月16日	〃	教育文化部
28	準要保護世帯の認定について	10月19日	定例会	教育総務課
29	準要保護世帯の認定について	11月18日	定例会	教育総務課
30	令和3年度一般会計補正予算(第7号)(案)について	11月18日	〃	教文・こ未部

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
31	菊川市菊川文化会館アエルの指定管理者候補者の選定について	11月18日	定例会	社会教育課
32	準要保護世帯の認定について	12月21日	定例会	教育総務課
33	準要保護世帯の認定について	1月18日	定例会	教育総務課
34	菊川市教育委員会教育長職務代理者を指名することについて	2月10日	定例会	教育総務課
35	令和3年度一般会計補正予算(第10号)(案)について	2月10日	〃	教文・こ未部
36	令和4年度一般会計当初予算(案)について	2月10日	〃	教文・こ未部
37	令和4年度給食実施回数について	2月10日	〃	教育総務課
38	令和4年度給食費の額について	2月10日	〃	教育総務課
39	菊川市区外就学に関する事務取扱要綱の一部改正について	2月10日	〃	こども政策課
40	スポーツ委員設置規則の一部改正について	2月10日	〃	社会教育課
41	菊川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	2月10日	〃	学校教育課
42	準要保護世帯の認定について	2月10日	〃	教育総務課
43	令和4年度教職員の人事異動について	3月2日	臨時会	学校教育課
44	菊川市立学校給食センター条例施行規則等の一部改正について	3月16日	定例会	教育総務課
45	令和4年度菊川市教育の方針(案)について	3月16日	〃	教育総務課
46	準要保護世帯の認定について	3月16日	〃	教育総務課
47	令和4年度指定学校変更及び区域外就学について	3月16日	〃	学校教育課
48	菊川市小中一貫教育の在り方検討会設置要綱の制定について	3月16日	〃	学校教育課
49	令和3年度共通数値目標の報告について	3月16日	〃	学校教育課
50	菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について	3月16日	〃	学校教育課
51	菊川市立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部改正について	3月16日	〃	学校教育課
52	菊川市立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要領の一部改正について	3月16日	〃	学校教育課
53	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	3月16日	〃	学校教育課
54	幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱について	3月16日	〃	こども政策課
55	菊川市文化振興計画推進委員会設置要綱の一部改正について	3月16日	〃	社会教育課
56	菊川市中央公民館開館時間及び使用時間延長の試行延長について	3月16日	〃	社会教育課
57	菊川市就学援助費支給要綱の一部改正について	3月16日	〃	教育総務課
58	菊川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	3月16日	〃	教育総務課
59	令和4年度教育委員会に属する職員の人事異動について	3月24日	臨時会	教育総務課
60	スポーツ大会出場選手又は団体に対する菊川市教育委員会奨励金支給要綱の一部改正について	3月24日	〃	社会教育課

令和3年度は合計で60件について審議を行いました。

(2) 菊川市教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日		担 当 課
1	令和3年度教育委員会事務局組織及び事務について	4月20日	定例会	教育文化 部 連 携 調 整 室
2	令和3年度こども未来部組織及び事務について	4月20日	〃	こども未来部 連 携 調 整 室
3	令和3年度保育施設等の入所状況について	4月20日	〃	こども政策課
4	菊川市立小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造工事について	5月18日	定例会	教育総務課
5	パラリンピック聖火リレーについて	7月20日	定例会	社会教育課
6	菊川市の教育2021について	8月18日	定例会	教育総務課
7	新型コロナウイルス感染症対策について	8月25日	臨時会	学校教育課
8	菊川市立小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造工事における変更契約について	9月16日	定例会	教育総務課
9	全国学力・学習状況調査の結果について	10月19日	定例会	学校教育課
10	文芸誌について	11月18日	定例会	社会教育課
11	幼児教育の現状について	11月18日	〃	こども政策課
12	令和4年菊川市成人式について	12月21日	定例会	社会教育課
13	六郷小学校通学路の安全対策について	12月21日	〃	学校教育課
14	令和3年度一般会計補正予算(第10号)(案)について	1月18日	定例会	教文・こ未部
15	令和4年度一般会計当初予算(案)について	1月18日	〃	教文・こ未部
16	菊川市教育大綱の中間見直しについて	1月18日	〃	教育総務課
17	菊川市教育委員会委員の任命について	1月18日	〃	教育総務課
18	令和3年度卒業式・令和4年度入学式日時及び管理者(案)について	1月18日	〃	教育総務課
19	令和4年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について	1月18日	〃	教育総務課
20	菊川市教育大綱の中間見直しについて	2月10日	定例会	教育総務課
21	令和4年度菊川市教育の方針(案)について	2月10日	〃	教育総務課
22	教育委員会の自己点検・評価報告書の様式見直しについて	2月10日	〃	教育総務課
23	第2次菊川市文化振興計画(案)の策定について	2月10日	〃	社会教育課
24	史跡菊川城館遺跡群整備基本計画(案)の策定について	2月10日	〃	社会教育課
25	令和3年度離任式・令和4年度着任式について	3月2日	臨時会	学校教育課
26	令和4年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について	3月16日	定例会	教育総務課
27	令和4年度の共通目標について	3月16日	〃	学校教育課

3) 令和3年度 教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校及び教育施設訪問

小学校4校、中学校1校及び教育施設1箇所の訪問を実施しました。

訪問日	訪問施設	訪問日	訪問施設
5月18日	内田小学校	10月19日	小笠南小学校
6月15日	小笠東小学校	11月18日	菊川西中学校
7月20日	小笠図書館	12月21日	河城小学校
8月18日	文化会館アエル(中止)	1月18日	菊川東中学校(中止)
9月16日	加茂小学校(中止)		

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、8・9・1月の学校及び教育施設訪問は中止した。

(2) 会議・研修会

教育委員を対象とした、次の会議及び研修会に参加しました。

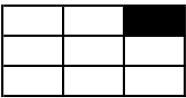
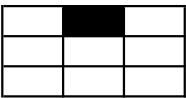
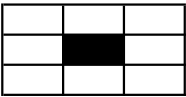
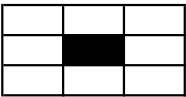
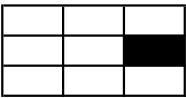
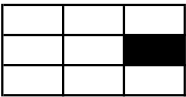
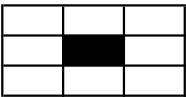
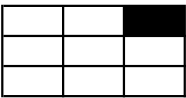
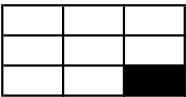
開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月8日	静岡県市町教育委員会教育長会	静岡市(県庁)	1名
4月9日	第1回静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
4月28日	静岡県都市教育長協議会総会	磐田市	1名
4月30日	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会	焼津市	書面決議
5月26日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会	千葉県市原市	書面決議
5月31日	関東地区都市教育長協議会総会	千葉県印西市	書面決議
6月8日	3市教育長会議	掛川市	1名
7月9日	第2回静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
7月27日	3市教育長会議	掛川市	1名
7月29日	静岡県市町教育長研修会	藤枝市	書面開催
10月8日	第3回静西市町教育長連絡協議会	WEB会議	1名
10月21日	3市教育長研修会	掛川市	1名
10月28日	3市教育長会議	掛川市	1名
11月22日	第4回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
1月13日	3市教育長会議	掛川市	1名
2月2日	3市教育長会議	掛川市	1名
3月16日	総合教育会議	菊川市	5名

(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

開催日		行事・大会名	
開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	1日:教職員着任式 2日:菊川市スポーツ少年団結団式 3日:おおぞら認定こども園入園式 7日:小・中学校 入学式 9日:小笠北幼稚園 入園式 10日:菊川市文化協会総会(書面決議) 18日:市長杯小学生バレーボール大会	10月	6日:牧之原市学校再編計画市民意見交換会 10日:市町対抗駅伝競走大会菊川市選考記録会 13日:中学生ふるさと未来塾(岳洋中) 30・31日:菊川市文化祭(中止)
5月	22日:市内高等学校野球大会(中止) 23日:体力測定会&健康チェック(中止) 27日:菊川市体育協会総会(書面決議)	11月	1日:中学生ふるさと未来塾(菊川西中) 7日:スポーツレクリエーションフェスティバル2024(中止) 7日:第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会菊川市選手団結団式(中止) 17日:牧之原市学校再編計画説明会 21日:菊川市シニアゲートボール大会
6月	15日:青少年健全育成市民会議常任委員会(書面決議) 27日:体力測定会(中止)	12月	4日:第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会 8日:中学生ふるさと未来塾(菊川東中) 11日:安全安心ひとづくり市民大会(中止) 16日:県下一斉冬季青少年街頭生活指導 19日:第17回菊川Cityマラソン(中止) 20日:ボランティア級認定者表彰式 23日:牧之原市学校再編計画地域説明会
7月	1日:青少年非行・被害防止街頭キャンペーン(中止) 4日:菊川市子ども会連合会事業(消防署体験) 21日:県下一斉夏季青少年街頭生活指導 30日:小笠地区社会教育委員研修会	1月	9日:菊川市成人式 16日:第18回菊川市民健康駅伝競走大会(中止) 29日:文学講演会 30日:第11回深蒸し茶の里'菊川ファン'駅伝(中止)
8月	2日:学び続ける教員研修会 6日:菊西学舎学びの庭合同研修会 14日:菊川市陸上競技選手権大会(中止) 17日:パラリンピック採火式・集火式・聖火リレー 21日:絵画コンクール表彰式(中止)	2月	5日:第17回菊川市書き初め展 表彰式 13日:ペタボード交流会(中止) 18・19日:東海四県スポーツ推進委員研究大会(WEB開催) 26日:おはなしステーション(中止)
9月	12日:市町対抗駅伝競走大会菊川市選考記録会(延期) 18日:おはなしステーション(延期)	3月	6日:ビーチボール交流会(中止) 17日:小笠北幼稚園卒園式 18日:小・中学校 卒業式 19日:おおぞら認定こども園卒園式 25日:市子ども会連合会総会(書面決議) 28日:教職員離任式

[自己点検・評価]

シート 1		(大項目)	教育委員会の活動	
表の見方		実現度 A B C →重要度	実現度 A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満)	重要度 A=非常に重要 B=重要 C=やや低い
シート1	シート2			
中項目	小項目	点検・評価		
(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↑  →重要度	・定例会を12回、臨時会を3回開催し、60件の議案について審議した。	
	②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑  →重要度	・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。	
(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑  →重要度	・令和3年度は、定例会に延べ3名の傍聴があった。	
	②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↑  →重要度	・令和3年度は、会議録等の資料公開要求がなかった。	
(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度↑  →重要度	・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。	
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↑  →重要度	・令和3年度は、総合教育会議に1回参加した。	
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↑  →重要度	・研修会等に参加した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、書面開催や中止となったものが一部あった。 ※P9 会議・研修会参照	
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度↑  →重要度	・市内の市立小中学校への教育委員会訪問を実施し、各学校の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、7校訪問(小学校5校、中学校2校)の予定が5校訪問(小学校4校、中学校1校)となった。	
	②所管施設の訪問	実現度↑  →重要度	・所管する教育施設への訪問を実施し、施設の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、2箇所訪問(小笠図書館、文化会館アエル)の予定が1箇所訪問(文化会館アエルは中止)となった。	

シート 2		(大項目)	教育委員会が管理・執行する事務									
中項目	小項目	点検・評価										
(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A		■	B			C	B	A	・「令和3年度 菊川市教育の方針」を策定し、教育委員及び学校長並びに幹部管理職へ説明した。	
A		■										
B												
C	B	A										
(2)教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度は、14件の規則、要綱等の一部改正を行った。	
		■										
(3)教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・当初予算案及び補正予算案を議案上程した。	
		■										
(4)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・令和3年度は、議案はなかった。	
	■											
(5)教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること(県費負担教職員の任免を除く)	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和4年度教育委員会に属する職員の人事異動について、議案上程した。	
		■										
(6)県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度学校長の人事異動案について審議し、内申を行った	
		■										
(7)県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度教職員等の人事異動案について審議し、内申を行った。	
		■										
(8)教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。	
		■										
(9)教科用図書の採択の決定に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度は、議案1件(中学校教科用図書)を上程し、審議をした。	
		■										
(10)通学区域を設定し、又は変更すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度は、議案はなかった。	
		■										
(11)文化財を指定し、又は指定を解除すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・令和3年度は、議案はなかった。	
	■											
(12)請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・令和3年度は、「文苑きくがわ」再発刊を求める請願書が採択され、菊川市議会教育福祉委員会より「文苑きくがわ」再発刊の検討に関する意見書が提出されたことから、社会教育課において再発刊に向けての検討を進めている。	
		■										

シート 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

各点検評価シートの実績評価 A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。
 B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。
 C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

担当課名	番号	施策 (大分類)	ページ	
こども政策課	①	幼児教育・保育の質の向上	14	
	②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	15	
学校教育課	①	中学校区等を核とした学びの環境づくり	18	
	②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり	19	
	③	思いやりに満ちた学校づくり	20	
	④	「一人ひとりが生きる教育」の推進	22	
	⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	23	
教育総務課	⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	26	
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	27	
給食センター (教育総務課)	⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供	28	
社会教育課	①	社会教育	地域で子どもを守り育てる	33
	②		家庭の教育力向上	35
	③		生涯学習活動の推進	36
	④		鑑賞機会の提供	36
	⑤		市民の文化・芸術活動への支援	37
	⑥	文化振興	文化財の保存・周知・活用	39
	⑦	スポーツ振興	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	42
	⑧		スポーツ団体・スポーツ活動への支援	43
	⑨		スポーツ活動の場の提供	45
図書館	⑩	子どもの読書活動推進	47	
	⑪	読書機会の提供・読書活動の啓発	49	
	⑫	読書環境の整備	51	

基本目標	「豊かな心を育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	1 「生きる力の基を育む園」づくり（こども未来部との連携）【幼児教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
① 幼児教育・保育の質の向上 (こども政策課)	(1) 子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進	ア 指導計画の更新
		イ 各種研修会・研究会の開催
		ウ 各種園行事の充実
	(2) 保護者との連携	ア 家庭教育学級への参加
		イ 保護者の保育参加の推進
		ウ PTA活動、保護者協力活動
	(3) 親子のふれあいを通した心の醸成	ア 親子行事の開催
		イ 読み聞かせ活動の推進
		ウ 図書館との連携
② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 (こども政策課)	(1) 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進	ア 園行事への招待と地域行事への参加
		イ 老人クラブとのふれあい活動の推進
	(2) 幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育事業所との連携	ア 菊川市幼児施設連絡会との連携
		イ 小笠地区乳幼児保健会への出席
		ウ インクルーシブ教育の推進
	(3) 小中学校との交流の推進	ア 保・幼・こ・小連絡会の開催
		イ 小・中との授業研究会への参加
		ウ 小学校との交流

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上	
施策名 (中分類)	子供の発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進【①-(1)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園における園長、・主任会を毎月、学年部会を年間2回開催し、職員の質の向上を図る。 ・各園において、入園式、七五三祝い、修了式、卒園式を実施し、交流事業として、2園交流会、観劇を実施する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>各種研修会・研究会により職員の保育力を向上し、園の運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会をとおして親子関係や友達関係を深めることができた。</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>	
令和2年度実績評価	<p>各種研修会・研究会により職員の保育力を向上し、園の運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会をとおして親子関係や友達関係を深めることができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>子どもが多様化している中、一人一人に応じた保育を展開していくために、環境・援助のあり方を話し合い、職員の保育力を向上していく。また、新しい生活様式をふまえながら、充実した保育のあり方を探っていく。</p>	

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上	
施策名 (中分類)	保護者との連携【①-(2)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を共有・提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各園の年間計画に従って、年間7回～8回のふれあいの日を実施する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「ふれあいの日」が実施できなかった。代わりとして参観時には、親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供することができた。</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>	
令和2年度実績評価	<p>参観時等に親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供することができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>核家族化、少子化、価値観の多様化などにより環境が大きく変化している。保護者自身も一人で悩みや不安を抱えながら子育てをしているため、引き続き情報提供を行い、家庭や地域と連携を取っていく。</p>	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上			
施策名 (中分類)	親子のふれあいを通した心の醸成 【①-(3)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係		
施策の目的	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図るとともに、絵本を用いた読み聞かせ活動を通して、絵本の楽しさを深め、自己肯定感をもてるようにする。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 各園の計画に従って、親子での行事として、運動会、お楽しみ会等を開催する。 保護者が園に出向いての読み聞かせ、保護者の有志サークルによる読み聞かせ、家庭による読み聞かせ、園の絵本貸出による読み聞かせを実施する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>運動会、お楽しみ会等を開催し、親子でふれあいながら活動できた。また、読み聞かせをすることで、絆を深め、子どもの心の安定や心の醸成を図ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め、子どもの心の安定や心の醸成を図ることができた。			
今後の取組課題 又は改善点	絵本を通して親子のふれあいの時間を作ってもらおう。絵本の貸し出しを実施し、親子の関わり大切さや子育ての楽しさを実感してもらおう。			
教育委員会による自己評価				
施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携			
施策名 (中分類)	地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進 【②-(1)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係		
施策の目的	地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にする。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 各園の年間計画により夏祭り、お月見コンサート、もちつき、どんど焼き、豆まき等の行事を実施する。 降園方面別のパトロールを職員が実施する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域の方の園行事への参加は、見合わせることにしたが、地域の方のご厚意により、芋掘りやたけのこ掘り等に参加することができ、ふれあいながら体験できた。降園方向別のパトロールについては、徒歩通園から保護者の送迎による通園となったため、実施しなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	地域の方が園行事に参加したり、園児が地域の行事に参加することにより、園や園児のことを知ってもらうことができた。また、降園後のパトロールにより園児の安全を確保することができた。			
今後の取組課題 又は改善点	新しい生活様式を取り入れながら、地域の方が園行事に参加できるように計画していく。また、保護者と協力しながら園児の安全を確保していく。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	
施策名 (中分類)	幼稚園・保育園・認定こども園との連携 【②-(2)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会を通して互いの理解を図るとともに、職員の資質向上を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	幼児施設連絡会が主催する、園長会や各種研修会に出席し、各園や教育委員会と連携を図る。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	私立園・民間保育所と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	私立園・民間保育所と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	私立園・民間保育所と連携を密にし、教育要領に基づいた幼児の発達を共通理解することで、今後の幼児教育の在り方を検討していく。	

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	
施策名 (中分類)	小中学校との交流の推進 【②-(3)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、幼稚園・保育園が互いに横の連携を取りながら、子どもの育ちを小学校、中学校へとつなげる。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・小学校との連携を図るため、保幼小連絡会に出席する。また、園の公開保育を実施する。 ・夏祭り、豆まき、ありがとうの会等で交流を行う。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、夏祭り、ありがとうの会等での交流はできなかった。保幼小連絡会を行うことにより、入学前の子どもの引継ぎや、園から小学校への接続が円滑にできた。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	保幼小連絡会や行事交流を行うことにより、入学前の子どもの引継ぎや、園から小学校への接続が円滑にできた。	
今後の取組課題 又は改善点	小学校、中学校との連携を強め、子どもの育ちを園から小学校、中学校へとつなげるため、教育委員会学校訪問に同席し、学校現場の実態等について視察を行う。行事交流については、新しい生活様式をふまえながら交流の仕方を工夫していく。	

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	2 「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
① 中学校区等を核とした学びの環境づくり (学校教育課)	(1) 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進	ア 地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進	
		イ 学舎運営協議会の開催	
		ウ 地域学校協働活動推進事業	
	(2) 豊かな学びを支える環境づくりの推進	エ 菊川型「小中一貫教育カリキュラム」の作成	
		ア 市主催行事の開催	
		イ 環境教育、食育、キャリア教育の推進	
② ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり (学校教育課)	(1) 「きくがわ21世紀型授業」の推進	ウ 「地域の財を生かした教育」の推進	
		ア 学校訪問による授業改善支援	
		イ 一人1台端末を効果的に活用するICT活用研修(各校)の推進	
		ウ 各種研修会の開催	
	(2) 英語力の向上	エ 全国学力学習状況調査の分析、学力向上対策委員会	
		オ 新学習指導要領の確実な実施	
	(3) 教育の情報化の推進	ア 英語指導助手、英語支援講師の配置	
		イ 教職員研修の開催	
		ア 校務の情報化の推進	
		イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用	
	③ 思いやりに満ちた学校づくり (学校教育課)	(1) 魅力ある学校づくり	ウ 情報推進委員会の開催
			ア PDCAサイクルに基づく組織的な取り組み
イ 学校いじめ防止基本方針に沿った対応			
(2) 「心の教育」の推進		ウ 人権教育、福祉教育の実践	
		ア 「特別な教科・道徳」の確かな推進	
(3) 児童・生徒の心に寄り添う支援		イ 全教育活動を通した「心の教育」の推進	
		ア 適応指導教室の運営	
		イ こころの教室相談員の配置	
		ア 就学支援委員会の開催	
④ 「一人ひとりが生きる教育」の推進 (学校教育課)	(1) 特別支援教育の推進	イ 巡回相談及び教育相談の実施	
		ウ 学級・学校支援員の配置	
		エ 教職員研修の充実	
	(2) 外国人児童生徒への教育支援	ア 外国人児童生徒就学支援	
		イ 外国人支援員の配置	
		ウ 外国人担当者研修会の開催	
	(3) 安全教育の充実	ア 自分の命は自分で守る防災教育	
		イ 交通安全教育	
		ウ 学校安全教育	
⑤ こころざしを持った頼もしい教職員の育成 (学校教育課)	(1) 教職員育成指導	ア 各種研修会の開催	
		イ 学校訪問による教職員指導	
	(2) 教職員の人事及び評価	ア 教職員人事評価の実施	
		イ 教員免許状の更新指導	
	(3) 円滑な学校運営の推進	ア 学校評価の活用	
		イ 教職員の労働安全衛生管理	
		ウ 危機管理意識の醸成	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	中学校区等を核とした学びの環境づくり	
施策名 (中分類)	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進【①-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校政策係
施策の目的	小・中学校の「たての接続」と学校・地域社会の「よこの連携」、「地域の財を生かした教育」を基本理念とした「学びの庭」構想を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・学舎運営協議会(岳洋・菊西・菊東)を年2回ずつ開催する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	岳洋学舎をモデルにし、菊西学舎、菊東学舎での運営がスタートした。菊西学舎、菊東学舎においては、運営初年度ということで、学舎の特色や強み、課題を共有し、整理し、実態に合った組織の設置や学舎での具体的な取組について話し合った。各学舎とも年間2回の学舎運営協議会を実施した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	岳洋学舎において「学びの庭」構想モデル地区2年間の取組を終え、様々な実績を得るとともに、地域への認知度を高めることができた。令和3年度は菊川地域の2学舎を含めた本実施となるが、岳洋学舎での経験則をもとに、各学舎の色を大切にしながら地域学校協働活動を進めていく。	
今後の取組課題 又は改善点	岳洋学舎運営協議会の運営をより活性化するとともに、運営2年目となる菊西学舎及び菊東学舎については、学舎の特色を生かし、学舎単位の取組の充実をサポートしていく。地域との連携については、可能な限り学校が主体的に動くことが望ましいが、その分負担も高まる。各学舎に配置する地域学校協働活動推進員が効果的に学校・地域間の連絡調整・橋渡し役を担うことができるよう支援していく。	

施策名 (大分類)	中学校区等を核とした学びの環境づくり	
施策名 (中分類)	豊かな学びを支える環境づくりの推進【①-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	文化的体験や、菊川市の地域の力を生かし、心身共に健全な児童・生徒を育成する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・小学校観劇鑑賞会、特別支援学級交流会、中学生向けの企業説明会を実施する。 ・環境教育推進研修会、食育連絡会を実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症への対策をしつつ、ICT機器等を活用した実施方法をさぐり、できる範囲内で工夫をして事業を行った。中学生向けの企業説明会では、新たな企業の発掘もなされ、生徒が地域で働くことを身近に感じる機会となった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策中にあっても、ICT機器等を活用しながら研修を行うことができ、児童生徒をとりまく環境を整備することができた。様々な体験活動を通し、豊かな感性を培うとともに、自分の住む地域についても考えることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	企業説明会や職場体験がさらに充実するよう、地域の企業・団体との協力を深めていく。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり			
施策名 (中分類)	「きくがわ21世紀型授業」の推進【②-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある授業「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。情報教育機器の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力・学習状況調査の分析を基に、求められている学力や菊川市の子供の課題を明確にして授業改善に取り組む。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会を開催する。 ・全国学力・学習状況調査の分析を行い、学力向上対策委員会を開催する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会及び学力向上対策委員会を計画通り開催した。「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校91.9%・中学校87.4%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、調査項目すべてで95%を上回り、県平均65.7%を大きく上回った。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校92.6%・中学校87.2%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、県平均を大きく上回り、情報機器の活用が進んでいる。上記のような数値結果は、学校訪問による指導及び研修会の成果といえる。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>次年度は、教育の情報化に関する講師を各学舎に派遣し、ICTの効果的な活用における授業改善を市内全域に広げ、さらなる学びの充実を図る。</p>			

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり			
施策名 (中分類)	英語力の向上【②-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	小中学校における外国語によるコミュニケーション能力向上と、教員の指導力向上を図る。また、授業以外でも、小学校段階から英語に触れる機会を増やし、菊川を訪れる人に英語でおもてなしできる人材を育成する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手、英語支援講師を配置する。 ・外国語活動教員等を対象にした研修会を実施する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>小学校全校に英語支援指導助手または英語支援講師を配置した。ALTや英語支援講師との意見交換の機会を設定し、今後の英語の授業の充実に向けての環境整備について、有意義な意見交換を行うことができた。計画していた外国語活動研修会はコロナウイルス感染症対策により中止せざるを得なかった。各校においてICT機器を活用し、学校間の交流や外国人とコミュニケーション活動を行うことで、学んだ力を活用し、向上させることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>ALTや英語支援講師と研修を通じての話し合いにより、授業でのよりよい支援につなげることができた。また、ICT機器を活用し、学校間や外国人とコミュニケーション活動を行うことで、学んだ力を活用し、向上させることができた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>小学校での学習をスムーズに中学校へつなげられるよう、研修方法や支援員、ALTの活用等について検討を進める。</p>			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり	
施策名 (中分類)	教育の情報化の推進【②-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校政策係
施策の目的	情報教育機器を効果的に活用し、一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・ICT推進委員会を年3回実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	ICTを活用した授業案等を各校5例以上、合計65例集約することができ、各校の授業で、積極的な活用がなされた。ICT推進委員会を計画通り年3回実施し、各校においてICT推進委員が中心となって、菊川市の一人一台端末の活用における成果と課題を協議し、今後のさらなる活用に向けた環境整備についての検討と効果的な授業の在り方について理解を深めることができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	情報教育モデルカリキュラム、ICT活用例等を参考にして、情報教育機器を授業で積極的に活用することができた。また、各校ICT推進委員が中心となって、タブレット型端末を活用した効果的な授業の在り方についての研修を深めることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	子どもたちが情報活用能力を身に付け、情報教育機器を効果的に活用し、一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。	

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	魅力ある学校づくり調査研究事業【③-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・魅力ある学校づくり研修会、学び続ける教員研修会を実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	魅力ある学校づくり研修会を年3回、学び続ける教員研修会を1回開催した。魅力ある学校づくり調査研究事業に取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。モデル校区(岳洋中学校区)の取組をもとに、全中学校区へ実践を広め、自校の教育活動を子どもの声をもとに見直す視点を持つことができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	魅力ある学校づくり調査研究事業に取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。モデル校区(岳洋中学校区)の顕著な成果としては、児童生徒意識調査の数値は、調査回数を重ねるごとに増加傾向にあった。	
今後の取組課題 又は改善点	増加傾向にある不登校、発達に関する問題等、個に応じた指導や支援、組織的な対応を必要とする事案が増えているため、さらにきめ細やかに子ども一人ひとりに寄り添って行く必要がある。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	「心の教育」の推進【③-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	特別な教科・道徳の完全実施に向けて、道徳科の指導が確実に実施されるように、また、質の高い指導方法や評価についての研究を進めながら授業実践を進める。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・教務主任研修会で、道徳教育の全体計画や道徳科の年間指導計画、教材、指導方法、評価についての情報共有を行う。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	教務主任研修会で、道徳教育の全体計画についてカリキュラムマネジメントシートによる情報共有を行った。また、年間指導計画、教材、指導方法、評価については道徳科を含め全教科分において提出を依頼し、共有した。これらにより、特別な教科である道徳への理解が深まった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	特別な教科である道徳への理解が深まった。道徳的価値に迫るために、道徳教育の計画を見直したり、カリキュラムマネジメントに取り込んだり、さらに実践を積み重ねたりして、研修を深める必要がある。	
今後の取組課題 又は改善点	道徳的価値に迫るために、道徳教育の計画を見直したり、カリキュラムマネジメントに取り込んだり、さらに実践を積み重ねたりして、研修を深める必要がある。	

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	児童・生徒の心に寄り添う支援【③-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係
施策の目的	一人ひとりに寄り添った支援を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・適応指導教室「このゆびと～まれ」を運営する。 ・市内3中学校に心の教室相談員を配置する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒14人のうち、6人を学校復帰及び上級学校進学につなげることができた。また、42件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であるとともに、通う子どもにとって「心がほっとする、心の居場所」となった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒6人のうち、3人を学校復帰につなげることができた。また、教育相談により児童・生徒・保護者にとって、「心がほっとする、心の居場所」となった。	
今後の取組課題 又は改善点	適応指導教室相談員と学校(心の教室相談員)との連携体制を強化し、さらにきめ細やかな指導・支援につなげる。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進	
施策名 (中分類)	特別支援教育の推進【④-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	育児や発育に対して支援の必要な全てのの子供のために、個を大切にした教育をさらに推進し、心の教育を充実させて、「一人ひとりが生きる教育」を進めていく。各園・学校における体制整備及び関係部局や機関の連携協力を図り、教育・医療・保健・福祉・労働との連携を強化し、乳幼児期から就労に至るまでの一貫した支援体制を整備する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談員等による専門家チーム会議、巡回相談及び教育相談を実施する。 ・学級学校支援員をすべての学校に配置する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>	
令和2年度実績評価	<p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>保護者や園との早期からの連携や情報共有に努め、特別支援教育に対する理解や就学支援の仕組みへの理解をこれまで以上に進めた上で就学支援に取り組む必要がある。</p>	

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進	
施策名 (中分類)	外国人児童生徒への教育支援【④-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	外国人児童生徒の在籍する学校に支援員を配置し、日本語指導とともに学習・生活支援を行い、校内での学習や学校生活が円滑に進むようにする。「学校が楽しい」と答える児童生徒を90%以上とする。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ外国人支援員を配置する。 ・外国人担当者研修会を開催する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>外国人担当者研修会を実施し、県日本語支援コーディネーターからの講話をもとに、日本語支援についての理解を深めることができた。また、支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童94.1%、生徒92.3%であった。</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>	
令和2年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、外国人担当者研修会を実施することができなかった。支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童91%、生徒87%。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>日本語指導とともに学習・生活支援が必要な外国人児童生徒に対し、引き続き支援を行う。</p>	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進	
施策名 (中分類)	安全教育の充実【④-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係
施策の目的	安心して学校に通える環境づくりを進めるために、学校の危機管理体制の向上を図り、児童生徒の安全意識を高める。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校地震防災等対策マニュアルを見直し、風水害時の避難確保計画を作成する。 ・通学路安全点検及び通学路安全対策検討会を実施する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>学校の危機管理体制の整備として、全小中学校で学校地震防災等対策マニュアルを見直し、危機管理課の指導を受け風水害時の避難確保計画を作成した。 全小学校において、通学路安全点検を行い、それを基に通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>学校の危機管理体制の整備として、全校で避難訓練及び情報伝達訓練を実施した。また、児童生徒の安全意識の向上のための交通安全教室や街頭指導、防犯教室を実施し安心して学校に通える環境づくりを進めた。通学路安全対策検討委員会を開催し教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>学校で実施している避難訓練が、より実践的なものになるよう引き続き工夫していく。また、各校の学校地震等対策マニュアルを随時見直し、より有効なものに整備していく。</p>	
施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	
施策名 (中分類)	教職員育成指導【⑤-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	<p>児童生徒、保護者や地域から信頼される教職員を育成するために、各種研修会を開催するとともに、学校訪問による教職員指導を実施する。(「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合、小学校91%中学校85%以上を目指す。)</p>	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<p>「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合を、小学校91%以上、中学校85%以上とする。</p>	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校94.1%、中学校88.3%であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校93.2%、中学校88.3%であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>各研修会について、それぞれの職に応じ、教師としての力量を高めることができるよう、さらに内容を工夫して行う。</p>	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成			
施策名 (中分類)	教職員の人事及び評価【⑤-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	新たな人事評価により、教職員の前向きな取り組みを促し、資質能力の向上や組織の活性化につなげる。また、教職員免許更新制度を利用し、教職員の指導力向上に努める。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員人事評価における自己目標シート及び職務評価シートの活用並びに管理職による面談を実施する。 ・教職員免許更新対象者の状況把握及び受講、更新手続きについて助言を行う。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>教職員人事評価に対し、全校で前向きな評価が実施された。また、教職員免許更新についても、対象である第2グループ22人の更新がすべて終了した。これらの事業により、教職員の資質能力を向上させることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>教職員人事評価に対し、全校で前向きな評価が実施された。また、教職員免許更新についても、対象である第1グループ22人の更新がすべて終了した。これらの事業により、教職員の資質能力を向上させることができた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>教員免許更新制が廃止となり、令和5年度から新たな教員研修が義務付けられる。正確な情報収集に努め、教員への周知を行い、準備を進めていく。</p>			

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成			
施策名 (中分類)	円滑な学校運営の推進【⑤-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	学校評価を活用するとともに、地域との連携を密にすることにより、円滑な学校運営を推進し、地域から信頼される学校経営を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で学校評価を行い、学校運営改善に活かす。また、評価結果を各学校ホームページ等により公開する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>全小中学校において各学校の経営方針や重点的な活動について、学校職員・児童生徒・保護者の3者での学校評価を年2回行った。評価結果によりPDCAサイクルを生かした学校運営を行った。評価結果については、学校だよりとして保護者・地域に発信するとともに全校ホームページで公開している。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>円滑な学校運営推進のために、教職員育成指導や人事評価等を確実に実施した。その結果、「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合が、小中学校合わせて91.7%となった。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>学校評価について、市共通項目の見直しを行い、各学校ごとの目標から各学舎ごとの目標を設定するよう連携を進める。</p>			

基本目標	「豊かなこころを育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	2 「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 (教育総務課)	(1) 学校施設の適正な維持管理	ア 学校施設・設備の維持管理 イ 国庫及び県費補助・市単独事業の実施
	(2) 学校施設整備	ア 小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造工事
	(3) 学校施設の長寿命化	ア 施設整備計画の推進
⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり (教育総務課)	(1) 教室環境の整備	ア 校用備品の整備
		イ 教育用情報端末の整備・更新
		ウ 特別教室への空調機器設置の検討
	(2) 家庭への支援	ア 就学支援事業の実施 イ 特別支援教育就学奨励事業の実施
⑧ 安全でおいしい給食の安定的な提供 (教育総務課)	(1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施	ア 給食献立作り及び使用食材の発注
		イ 食物アレルギーへの対応
		ウ 民間委託による安定した調理業務の実施
	(2) 食育及び地産地消の推進	ア 栄養士による食育指導の実施
		イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進
	(3) 安定した給食業務の実施	ア 給食食数管理及び給食会計処理の実施
イ 給食センター施設の維持管理の実施		

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化			
施策名 (中分類)	学校施設の適正な維持管理 【⑥-(1)】	担当課・係 教育総務課 施設係		
施策の目的	小・中学校の教育活動が支障なく行われるよう、学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設の維持管理を適切に行う。また、法令に基づく点検作業や営繕を実施する。 ・小規模な施設整備工事や営繕工事を計画的かつ効率的に実施する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。			
今後の取組課題 又は改善点	施設・設備の老朽化が全般的に進んでいる。高額な修繕に対応する件数が増えてきており、予防的修繕を検討し、経費の縮減を図っていく必要がある。			

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化			
施策名 (中分類)	学校施設整備 【⑥-(2)】	担当課・係 教育総務課 施設係		
施策の目的	耐震力が劣る校舎の耐震補強に併せ、トイレの洋式化やLED照明への改修を実施し、良好な教育環境の確保に努める。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・小笠南小学校校舎の耐震補強及び大規模改造工事を実施する。			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の向上に加え、良好な教育環境が確保できた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	加茂小学校校舎耐震補強・大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の向上に加え、良好な教育環境が確保できた。			
今後の取組課題 又は改善点	市内小中学校の校舎には、耐震性のやや劣る校舎が確認されているため、引き続き耐震補強事業を実施し、耐震性の向上に取り組む必要がある。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	
施策名 (中分類)	教室環境の整備 【⑦-(1)】	担当課・係 教育総務課 施設係
施策の目的	児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基づいた授業等に必要な教材・教具等を効率的に購入する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・特別教室への空調機器設置に伴う整備方針及び整備費用等の検討を行う。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	市内4小中学校において、特別教室空調機設置工事实施設計業務委託を実施し、特別教室への空調機器設置に伴う整備方針及び整備費用等の検討を行った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	特別教室への空調機器設置については、利用率の高い特別教室への設置を検討するよう指摘があった。令和6年度までは、耐震補強・大規模改造工事に併せ空調機器を設置していくよう今後調整をしていく予定である。	
今後の取組課題 又は改善点	タブレット型端末導入に伴い、今後の授業内容、授業形態の変化への対応が求められる。また、サーバー等のPC周辺機器における在り方を学校教育課を含めて検討する必要があると考える。	

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	
施策名 (中分類)	家庭への支援 【⑦-(2)】	担当課・係 教育総務課 総務係
施策の目的	学校教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費などを援助し、保護者の経済的な負担軽減及び円滑な就学を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給する。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	就学援助費については、令和2年度の実績と比較し、支給額は517千円増(R2: 15,003千円、R3: 15,520千円)、支給対象者は5名増(R2: 214名、R3: 219名)となった。また、特別支援教育就学奨励費については、令和2年度の実績と比較し、支給額では813千円増(R2: 3,095千円、R3: 3,908千円)、支給対象者は22名増(R2: 83名、R3: 105名)となった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	就学援助費については、令和元年度の実績と比較し、国基準額の増額や入学前支給の実施により支給額1,682千円増、支給対象者は60名の増となった。特別支援教育就学奨励費については、令和元年度の実績と比較し、支給額では736千円増、支給対象者は20名増となった。	
今後の取組課題 又は改善点	市ホームページや就学時健康診断の案内通知への資料同封、各小中学校におけるPTA総会などでの資料配布等により、引き続き制度の周知に努める。 また、認定及び支給手続きの効率化について、研究・検討を進める。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	安心・安全なおいしい給食作りの実施【⑧-(1)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間給食残食率が3.0%以下になることを目標とする。 ・学校給食摂取基準と食品構成に基づいた献立(案)を作成し、栄養担当職員及び委託先責任者で組織する献立会議を月1回開催する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、給食の食べ方や配膳方法が変わり残食率が増加し、目標の3%以下は達成することができなかった。また、調理作業前の朝礼時に衛生面の情報提供をし、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。献立会議を月1回、調理打合せ会を随時実施し、新たなメニューの考案・提供等にも努めた。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、給食の食べ方や配膳方法が変わり残食率が上昇してしまったが、目標の3%以下は達成することができた。また、作業前の朝礼時に衛生面の情報提供をし、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。献立会議や調理打合せ会を月1回開催し、新たなメニューの考案・提供等にも努めた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	給食センターでは安心安全な給食を提供するため、委託先との密接な連携のもと、安全な物資の調達、衛生管理の徹底を図り、職員全員が同じ意識を持ち進めていく。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、学校や園が給食の食べ方や配膳方法などを対策している状況であるので、相談があれば栄養教諭と連携し対応し改善していく。	

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	食育及び地産地消の推進【⑧-(2)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による「食に関する指導」を小中学校等で実施する。 ・「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品出す。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による食育の推進を行うことができた。また、「ふるさと給食週間(年3回)」、「地産地消の日(月1回)」において市内産野菜を使用した新たな献立に取り込むとともに、年間を通じて地場産の野菜・味噌・茶や主食となる米を給食に使用し、地産地消推進の拡大に繋げることができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による食育指導を行うことができた。また、「ふるさと給食週間」においては、引き続き市内産トマトをピューレに加工しミートソースやシチューなどで使用し、地産地消推進の拡大に繋げることもできた。また、地場産のキャベツとチンゲン菜は、年間を通じて給食で使用することができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	今後も地産地消推進会議を開催し、給食への地場産品使用拡大について意見交換を行う。また、市内農産物を活用した新たな献立や食材の製品化を検討し、地産地消の推進に役立てていくことが必要となっている。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	安定した給食業務の実施【⑧-(3)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	安心安全な学校給食作りを推進するために、安定した給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等と連携し、給食費未納者に対して徴収を働きかける。 ・給食調理機器、食器洗浄機、付属施設等の維持管理を適切に実施する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率(3月末)については、前年度99.89%であったが、本年度は99.92%となった。また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率については、前年度99.96%であったが、本年度は99.89%となった。また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、給食運営に必要な会議や学校訪問が中止となったが、給食だより等の紙媒体の情報発信は計画どおり提供できた。	
今後の取組課題 又は改善点	給食費完全納付に向けて、給食センターと学校等との連携をさらに強化し、家庭環境などの情報を共有化して、未納対策に取り組む必要がある。	

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
① 地域で子どもを守り育てる (社会教育課)	(1) 住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり	ア 青少年健全育成市民会議活動の推進	
		イ 街頭生活指導の実施	
		ウ 菊川市子ども会連合会等の青少年活動団体の育成支援	
	(2) 地域と学校の連携	ア 社会教育委員との連携	
		イ 中学生ふるさと未来塾の実施	
	(3) 豊かな感性と社会性を育む活動の推進	ア ボランティア活動支援センターの設置と運営	
		イ 活動級別認定の実施及び表彰	
	(4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進	ア ときどきフェスティバルの開催	
		イ 小谷村地域間交流体験教室の開催	
		ウ 成人式の開催	
	(5) 放課後子どもプランの推進	ア 放課後子ども教室の実施	
		イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携	
	② 家庭の教育力向上 (社会教育課)	(1) 家庭教育の推進	ア 家庭教育学級の開設委託
			イ 家庭教育支援員の派遣・推薦
	③ 生涯学習活動の推進 (社会教育課)	(1) 生涯学習活動の推進	ア 自主講座団体の登録申請・施設利用受付
イ 生涯学習推進員研修会の開催			
ウ ステップアップ講座・ことぶき講座の開催			

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
④ 鑑賞機会の提供 (社会教育課)	(1) アエル指定管理者との連携	ア 芸術文化振興事業の委託	
		イ 文化会館アエル運営委員会の開催	
		ウ 文化会館アエルの指定管理の更新	
	(2) アエルの計画的な施設の改修	ア 設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託の実施	
⑤ 市民の文化・芸術活動への支援 (社会教育課)	(1) 文化芸術活動の振興	ア 文化祭、写生大会、書き初め展の開催委託	
		イ 文化協会活動への支援	
		ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)の顕彰	
	(2) 中央公民館の管理・運営	ア 公民館施設の維持管理	
		イ 公民館施設の貸出	
	(3) 文化振興計画の推進	ア 文化振興計画の推進及び検証	
		イ 文化振興計画推進委員会・策定委員会の開催	
		ウ 第2次文化振興計画策定(委託)	
	⑥ 文化財の保存・周知・活用 (社会教育課)	(1) 文化財の保護	ア 文化財保護審議会の開催
			イ 国指定文化財等の維持管理及び整備
ウ 文化財防火訓練の実施			
(2) 文化・顕彰活動支援		ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助	
		イ 地域文化財活動団体への支援	
		ウ 関口隆吉氏顕彰事業・ウォーキングイベントの開催	
(3) 文化財の活用		ア 黒田家代官屋敷資料館の運営	
		イ 街道画及び埋蔵文化財等の展示・活用	
		ウ 埋蔵文化財センターの運営・管理	
		エ 塩の道公園の管理及び活用	
(4) 史跡の管理・活用		ア 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催	
		イ 史跡菊川城館遺跡群整備基本計画策定の実施(委託)	
(5) 開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理		ア 周知の埋蔵文化財包蔵地の新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新	
		イ 各種開発による試掘・確認調査の実施	
		ウ 発掘調査の実施	

基本目標	「豊かなこころを育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
⑦ 誰もがスポーツに触れあう機会の創出 (社会教育課)	(1) 生涯スポーツの推進	ア スポーツ教室・スポーツイベントの開催
		イ 各地区のスポーツ活動の推進
		ウ 体育用備品の適正な管理
	(2) 市主催スポーツ大会の開催	ア 市民健康駅伝競走大会の開催
		イ 各種交流会の開催
		ウ 市主催スポーツ大会等の運営(スポーツ推進委員・スポーツ委員)
	(3) オリンピック・パラリンピック関連事業の開催	ア パラリンピック採火式及び聖火リレーの開催
		イ バーレーンとのホストタウン交流
	⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援 (社会教育課)	(1) 市体育協会の育成強化
イ 菊川市体育協会への事業委託		
ウ 菊川市体育協会の加盟団体の活動支援		
(2) 各種スポーツ団体等の育成・強化		ア 静岡市町対抗駅伝への参加及び陸上選手権大会・シニアゲートボール大会の開催
		イ 全国大会等への出場者(団体)支援
		ウ 指導者育成スポーツ講座の開催
(3) 総合型地域スポーツクラブ「アップロス菊川」の支援		ア スポーツクラブとの連携強化
		イ クラブ活動への支援、連携
⑨ スポーツ活動の場の提供 (社会教育課)		(1) スポーツ施設の整備・管理
	イ 利用者の安全第一を考えた施設の計画的な改修、修繕	
	ウ 利用者の公平な利用、スポーツ活動の振興に期するための施設の貸出	
	エ 菊川運動公園北グラウンド整備	
	オ 体育施設夜間照明LED化	
	(2) スポーツ推進に係る調査・審議	ア 菊川市スポーツ推進審議会の開催
		イ スポーツ振興基本計画の検証と推進
		ウ スポーツ振興基本計画庁内連絡会の開催

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	住民主導による子どもの健やかな成長を育む 組織づくり【①-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、街頭生活指導を実施する。 ・市子ども会連合会等の青少年活動団体への支援を行う。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、街頭生活指導は参加人数を限定して実施した。関係団体との協議により、安全安心ひとづくり大会は表彰のみ実施し、菊川市子ども会連合会事業はドッジボール大会・レクリエーション大会の代替事業として「消防署体験」「川柳コンテスト」を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、夏季・冬季の街頭生活指導は規模を縮小し実施した。また、関係団体との協議により青少年健全育成市民会議常任委員会、支部長会、安全安心ひとづくり大会及び菊川市子ども会連合会事業のドッジボール大会は中止となった。青少年ボランティア及び青少年健全育成成功労団体の表彰やドッジボールの代替事業として3年後の自分に宛てた手紙を書く「未来レター事業」など、関係団体と協議し可能な範囲で実施した。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	引き続き関係機関との連携を図るとともに、内容や団体支援の方法を検討し、持続可能な事業の実施に努める。			

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	地域と学校の連携【①-(2)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	地域と学校が相互に連携し、地域住民等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支援することにより、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会定例会を年6回開催する。 ・中学生向けの企業説明会「ふるさと未来塾」を市内3中学校にて開催する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>社会教育委員会定例会は6回開催し、ふるさと未来塾の視察や成人式の運営補助等、地域と学校との連携に関する取り組みを実施した。 中学生ふるさと未来塾事業は、各学校や企業・団体の協力を得て実施することができた。新規6社の参加を得たほか、参加者アンケートをWebから回答できるよう改善した。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	<p>地域学校協働活動の推進については、今後も円滑な事業の実施に向け連携を図る。 中学生ふるさと未来塾事業については、各学校や企業・団体の協力を得て実施することができた。参加企業からは「学校教育に参画する必要性を感じた」「今後も積極的に地域と関わっていきたい、自社だけでなく市全体として盛り上げる一端となれば」等の声が聞かれた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	ふるさと未来塾の継続した実施に向け、学校と日程や内容等の調整を行うとともに、社会教育委員や、地域学校協働活動推進員との連携を図る。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む活動の推進【①- (3)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通し社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・各学校及び受入施設と連携し、児童生徒へのボランティア活動実践の場を提供する。 ・児童生徒がボランティア活動を行った時間数に応じて取得したポイントにより、ボランティア認定証を交付する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、年度後半のみの募集としたが、募金活動など可能な範囲でのボランティア活動が行われ、継続して活動した9名が市ボランティア級認定表彰を受けた。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、実施期間が例年より短くなったが、募金活動など可能な範囲でのボランティア活動が行われ、継続して活動した22名が市ボランティア級認定を受けた。	
今後の取組課題 又は改善点	受入先及び学校と連携し、安全かつ可能な範囲での活動を計画する。また、事業の周知や参加者への連絡調整にWEBの活用を図る。	

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進 【①-(4)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・どきどきフェスティバル、小谷村地域間体験交流教室を開催する。 ・成人式を開催する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	どきどきフェスティバルは参加者数を限定して実施した。小谷村地域体験交流教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため中止となった。成人式は二部制で開催した。公開した動画の再生回数は菊川地区で約2,600回、小笠地区で約1,700回と好評を得ている。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	どきどきフェスティバル・小谷村スキー教室は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。成人式については直前の変更となったが、多くの方の協力を得てWEB開催を実施することができた。会場開催中止に伴う大きな混乱や苦情もなく、開催方法の変更に対し概ね理解を得られた。	
今後の取組課題 又は改善点	成人式は、成年年齢の引き下げに伴い名称を「はたちの集い」とし、引き続き20才を対象として実施する。小谷村との交流体験について、事業の継続に向けて小谷村との調整を行う。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	放課後子どもプランの推進【①-(5)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校において、放課後子ども教室を開級する。 放課後子ども総合プラン運営委員会を開催する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため全校一律の開催は中止し、河城小のみ規模を縮小して実施した。10月から12月にかけて5講座を開級し、小学校1年生から6年生延べ48名の参加を得た。放課後子ども総合プラン運営委員会は書面にて開催し、委員10名に報告を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">C</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	市内全9校での開催は中止となったが、代替事業として新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、河城小学校子ども教室において11月25日(水)に「花育講座」を1回完結で実施した。農林課と連携し、花の寄せ植えを行い、小学校4年生から6年生16名の参加を得た。また、開催に向けガイドラインを作成したため、随時修正を加えつつ、次年度の実施に向け活用を図る。			
今後の取組課題 又は改善点	休講により、地域住民の協力が活動から離れてしまうことが想定される。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と併せ、持続可能な教室の在り方について、他市町の事例の情報収集等とコーディネーターへの情報照会を行う。			

施策名 (大分類)	家庭の教育力向上			
施策名 (中分類)	家庭教育の推進【②-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	保護者同士が交流し、「子育て」や「しつけ」について悩みや喜びを話し合う場を設け、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育の在り方を学ぶ。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の幼稚園、保育園、こども園、小中学校において、家庭教育学級を開級する。 家庭教育支援員を、各園及び学校に派遣する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>家庭教育学級には全幼保小中への開設を呼びかけ、22学級の参加を得た。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため学習の回数を年6回以上から3回以上に変更し、在宅での取組も推奨した。家庭教育支援員は新規に2名を委嘱し、4箇所で開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	家庭教育学級事業については、全幼保小中への開設を呼びかけた結果、24学級の参加を得た。学習の一環として「安全安心ひとづくり大会」を計画していたが中止となったため、代替として、園・学校、保護者を対象とした家庭教育アンケートを実施し、家庭教育に関する現状を把握し、今後事業を推進するにあたっての参考意見とした。家庭教育支援員活動は5箇所で開催を行った。			
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として行った取組実績や反省を基に運営方法を検討していく。また、新規家庭教育支援員の増員に向け、予算化や関係機関等への働きかけを行う。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	生涯学習活動の推進			
施策名 (中分類)	生涯学習活動の推進【③-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	地域での生涯学習活動を推進するため、各種情報提供を行う。また、生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広める講座等、幅広い学習の場を提供し、市民が仲間と共に楽しく学びつつコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことができる、学習の場を提供する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座、ことぶき講座を開催する。 ・生涯学習推進員研修会を開催する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため10回連続の講座の企画を中止し、1回で完結する生涯学習講座を4講座、高齢者向けのスマホ入門講座を3講座実施した。生涯学習講座には延べ44人、スマホ入門講座には延べ70人の参加があった。生涯学習推進員研修は書面により活動状況の報告を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">C</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	生涯学習だよりを配布し、ステップアップ講座197件、ことぶき講座40件(定員)の申し込みを得た時点で中止となった。連続講座は中止としたが、ことぶき講座の企画のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で1回完結型講座として企画し、実施することができた。生涯学習推進員の活動報告からは、新型コロナウイルス感染症の影響があっても可能な限り活動を継続している自治会の事例の収集を得ることができた。			
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症の拡大防止による制限下でも講座が再開できるよう、受講生の募集を年度の前期・後期の2期に分け、短期プログラムや、1回完結型の講座を企画する。ことぶき講座について、年齢を感じさせないよう「いきいきカレッジ菊川」に名称を変更する。			

施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供			
施策名 (中分類)	アエル指定管理者との連携【④-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川文化会館アエル運営委員会を開催する。 ・菊川文化会館アエルの指定管理者の公募を行い、次期指定管理者を決定する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>指定管理者の公募を行い、令和4年度から8年度までの次期指定管理者として、引き続き(株)SBSプロモーションが選定された。指定管理者と定期的に報告会を開催し、意見交換や連携に努めた。また、年3回の運営委員会において、状況の報告を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	指定管理者と定期的に報告会を開催し意見交換や連携に努めた。特に、新型コロナウイルス感染症の影響による対応について、年度当初の休館、会場内の換気・消毒、収容人数の半数を定員とした事業実施等、前例のない条件下においても安全な運営が行われるよう連携を図った。年3回の運営委員会において、状況の報告を行った。			
今後の取組課題 又は改善点	引き続き指定管理者と連携し、感染対策を行った上で、施設の持つ特性や地域団体の力を活かし、予算内で最大限の成果が発揮できるよう魅力的な鑑賞機会の提供や情報発信等に努める。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供	
施策名 (中分類)	アエルの計画的な施設の改修【④-(2)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	アエルは平成4年3月に開館し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障をきたす恐れがあるため、修繕を実施する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託を実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	指定管理者と緊密に連絡を取り、施設の安全管理を図りつつ、予定どおりの改修、更新が実施できた。大ホール舞台照明調光装置改修工事とピンスポット入替工事については、当初別事業として計画していたが、一括発注することにより経費の節減を図った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	予定どおりの改修、更新が実施できた。また、施設内全ての和式トイレを洋式化した。指定管理者と緊密に連絡を取り、施設の安全管理に努めることができた。大ホール舞台照明調光装置改修工事の単価入替については、当初委託する予定であったが、担当者が直接行うことにより経費の節減を図った。	
今後の取組課題 又は改善点	アエルは平成4年3月に開館し、令和4年3月で30周年を迎えた。随所に劣化が見受けられることから、施設更新工事を実施するための実施設計や、長期的な施設の在り方について検討を進めていく。	

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	文化芸術活動の振興【⑤-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・文化協会に文化祭、絵画コンクール、書き初め展の3事業を委託し、事業を実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	文化協会と協議の上、委託3事業のうち文化祭を中止とした。絵画コンクール、書き初め展は実施することができた。絵画コンクールは美術展・写生大会に代わり新たに創設し、今回が初回となった。46点の応募があり、入賞15点を選定した。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	文化協会と協議の上、委託3事業のうち写生大会・文化祭を中止とした。書き初め展は規模を縮小し実施することができた。会場を中央公民館に変更し、入賞作品のみを展示する方式としたことから、展示に必要な労力を削減し、展示期間を長く設定することができた。文苑きくがわは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、編集委員会席上で校正作業を短縮し、事務局の作業に振り替えた。細かい表記の修正が相次ぎ、発刊時期は例年より遅れたが年度内に完成することができた。投稿作品数は少なかったが読み応えのある作品が多く、編集委員からの評価も高かった。	
今後の取組課題 又は改善点	文化協会委託事業については、会員の高齢化等の課題に沿った事業の在り方を、文化協会とともに検討する必要がある。また、多くの市民が親しむことのできる文芸誌の今後の在り方について検討する。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	中央公民館の管理・運営【⑤-(2)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館の維持管理を適切に行う。 中央公民館の多目的ホール、会議室、和室等の貸出を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>保守点検や清掃業務委託などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。定期的な消毒作業や収容定員の制限等を行い貸館を継続したが、ワクチン集団接種会場に指定されたことや、まん延防止措置の発令などの影響により、生涯学習を目的とした利用は縮小・自粛が続いている。施設の状況については、運営審議会において随時報告を行った。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>保守点検や清掃業務委託などを実施し、良好な状態を保つことができた。また、緊急を有する修繕に対応できた。貸出については新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、4月2日から5月17日まで臨時休館とし、5月18日の再開以降も収容定員や内容に制限を設けたため、前年に比べ利用者数は減少した。(前年比42.5%)施設の状況については、運営審議会において随時報告を行った。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>引き続き設備の点検を行うとともに、長期的な修繕計画について検討を進める必要がある。また、7月から再度ワクチン集団接種会場に指定され貸館に制限が生じるため、利用団体との連絡調整、感染対策、利用者への呼びかけを継続する。</p>	

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	文化振興計画の推進【⑤-(3)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	菊川市文化振興計画の重点的取り組みである、「情報発信力の向上」「菊川アーカイブづくり」を進め、本市の文化振興を図ります。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 第2次文化振興計画を策定する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>第2次菊川市文化振興計画策定に向け、業務委託を行うとともに、策定委員会を4回開催し、文化振興計画において進捗管理する事業内容について議論した。令和4年3月に第2次菊川市文化振興計画を策定した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>第2次文化振興計画の策定にむけて、外部組織として文化振興計画策定委員会を立ち上げ、市が提案した基本理念、基本方針、基本施策について協議した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>第2次菊川市文化振興計画における事業の進捗管理及び第1次菊川市文化振興計画の後期事業計画の事後評価を行う必要がある。</p>	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化財の保護 【⑥-(1)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会を開催する。 国指定文化財等の維持管理及び保存整備を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	指定文化財の適切な維持管理が図られ、所有者、保存会等の協力により文化財の保護活用を図ることができた。文化財保護審議会を2回開催し、新たな指定文化財候補を見学した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	指定文化財の適切な維持管理が図られ、所有者、保存会等の協力により文化財の保護活用を図ることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	引続き指定文化財の適切な維持管理に努めるとともに、市民に広く文化財を周知するため、文化財をめぐるウォーキングイベントなどを実施し、普及活用に努める。	

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化・顕彰活動支援【⑥-(2)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 指定無形民俗文化財の保存、継承活動を行っている団体及び地域文化財活動団体への支援を行う。 関口隆吉氏顕彰事業として、文化財ウォーキングを開催する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	文化財保護団体や資料館管理者へ支援することにより、菊川市に伝わる地域の文化財の保護や継承、活用を推進した。 初代静岡県知事「関口隆吉」氏のゆかりの地と横地城を巡る文化財ウォーキングイベントを実施し、市内外の方に市内の文化財を周知顕彰することができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	文化財保護団体や資料館管理者へ支援することにより、菊川市に伝わる地域の文化財の保護や継承、活用を推進した。 初代静岡県知事「関口隆吉」氏のゆかりの地を巡る文化財ウォーキングイベントを実施し、市内外の方に関口氏を周知顕彰することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	関口氏に係る顕彰活動を展開していくために多くの資料を集めたが、新たに市内に特定できるものは少なく限界がある。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化財の活用【⑥-(3)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・街道画及び埋蔵文化財等の展示、活用を行う。 ・どきどきスタンプラリーを開催する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で年間2回の特別展示を開催し、活用が図られた。また、昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で3回展示を行い、街道画の普及に努めることができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で「菊川の城館」、「菊川を掘る」と題して、年間2回の特別展示を開催し、市内外からおよそ200人が訪れ文化財の普及、公開が図られた。また、昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。例年開催しているどきどきフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、中止とした。黒田家住宅の梅まつりを通じて、歴史や文化財の周知に努めることができた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で3回展示を行い、街道画の普及に努めることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	埋蔵文化財センターどきどき及び中央公民館の展示室で、引き続き埋蔵文化財の普及活用のため特別展示を行い、文化財の普及活用に努める。また、広報紙「どきどき通信」の発行や「どきどきメール」の発信により、文化財に係る情報発信に努める。	

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	史跡の管理・活用【⑥-(4)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡菊川城館遺跡群整備委員会を開催する。 ・史跡菊川城館遺跡群整備基本計画を策定する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本計画の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和4年3月に史跡菊川城館遺跡群整備基本計画を策定した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本計画の委託業務、整備委員会の開催と計画策定に取り組んだ。	
今後の取組課題 又は改善点	次年度は基本設計を作成する。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理【⑥-(5)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種開発による試掘、確認調査を実施する。 ・発掘調査を実施し、発掘調査報告書として記録保存を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の調査履歴を更新した。開発に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。	
	A	<ul style="list-style-type: none"> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の調査履歴を更新した。開発に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。	
今後の取組課題 又は改善点	開発者への埋蔵文化財包蔵地の周知が不十分である。講習会等を検討し、文化財保護法の届出の提出への理解を求める必要がある。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	
施策名 (中分類)	生涯スポーツの推進 【⑦-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・シニア健康体操教室などのスポーツ教室、スポーツイベントを開催する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	感染症対策のため、スポーツレクリエーションフェスティバル等は中止した。シニア健康体操教室は日程を変更して実施し、参加者の健康づくり、交流の促進を図ることができ、健康で豊かな人づくりに寄与することができた。	
	C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、スポーツレクリエーションフェスティバル等は中止した。シニア健康体操教室は実施し、少人数ではあったが参加者の健康づくり、交流の促進を図ることができ、健康で豊かな人づくりに寄与することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	体育協会が主催するスポーツ教室と連携を取り合い、内容の充実や新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を検討するとともに、開催に当たっては市内の感染状況等を注視し、関係団体と協議した中で進めていく。	

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	
施策名 (中分類)	市主催スポーツ大会の開催 【⑦-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・市民健康駅伝競走大会を開催する。 ・ペタボード交流会、ビーチボール交流会を開催する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	感染症対策のため、陸上競技選手権大会、ペタボード交流会、ビーチボール研修会は中止したが、シニアゲートボール大会は開催した。	
	C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、陸上競技選手権大会、ビーチボール・ペタボード交流会は中止したが、シニアゲートボール大会は開催した。	
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で事業内容を検討するとともに、開催に当たっては市内の感染状況等を注視し、関係団体と協議した中で進めていく。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	
施策名 (中分類)	オリンピック・パラリンピック関連事業の開催 【⑦-(3)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	パラリンピック聖火リレーは、県内の熱海市、静岡市、御前崎市、菊川市、浜松市を巡り、来る東京2020パラリンピック祝祭感を高めるため開催します。また、事後型ホストタウンとして、8月8日(日)のオリンピック閉会式後「バーレーン王国」とスポーツ・文化の交流を図ります。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック採火式及び聖火リレーを開催する。 ・バーレーンとのホストタウン交流を実施する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>パラリンピック採火式及び聖火リレーは8月17日に実施され、浜岡福祉会館からみなみやま会館までの区間の運営を支援した。事後型ホストタウンは感染対策のため対面交流が中止となり、市長及び体育協会会長のメッセージ送付と菊川茶の贈呈を行った。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	—	
今後の取組課題 又は改善点	オリンピック・パラリンピックを契機とし、引き続き市民のスポーツ活動を支援・推進する。	

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援	
施策名 (中分類)	市体育協会の育成強化 【⑧-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会への委託事業として、市町対抗駅伝競走大会及びスポーツ少年団交流大会を開催する。 ・市体育協会の自立への支援を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>感染症の拡大防止対策を講じた上で、競技役員のノウハウを生かした円滑な運営により、市町対抗駅伝競走大会及びスポーツ少年団交流会を開催することができた。また、市体育協会の自立への支援として、指定管理に係る月次報告会及び四半期報告会において指導及び助言を行った。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>菊川市体育協会への委託事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、競技役員のノウハウを生かした円滑な運営により、市町対抗駅伝競走大会及びスポーツ少年団交流大会を開催することができた。体育協会の自立・支援については、事務局運営の基盤強化を含め、指導していく。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>体育協会への委託事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上でこれまでのノウハウを活かし、可能な範囲で事業が進められている。体育協会の自立・支援については今後も継続的に実施していく必要がある。</p>	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援	
施策名 (中分類)	各種スポーツ団体等の育成・強化 【⑧-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・スポーツ少年団及び菊川市体育協会加盟団体等の活動を支援する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症対策のため、スポーツ少年団本部及び体育協会主催事業は中止したが、全国大会等出場選手を支援し、補助金・奨励金の支給を行った。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、スポーツ少年団本部及び体育協会主催事業は中止したが、全国大会等出場選手を支援し、補助金・奨励金の支給を行った。	
今後の取組課題 又は改善点	引き続き、スポーツ少年団の支援を行い、青少年の健全育成につなげていく。また、奨励金制度についても、制度の周知に引き続き取り組み、市のスポーツ競技力の向上につなげていく。	

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援	
施策名 (中分類)	総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の支援 【⑧-(3)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	平成23年2月27日に「アプロス菊川」が設立され、多くの年代がスポーツを生活の一部として習慣化するために中心的役割を担う総合型地域スポーツクラブとして、体制の確立を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」が主催する各種教室等の活動への支援を行う。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	アプロス菊川への支援として使用料の減免を行い、市スポーツ教室を共催で開催するなど認知度向上及び活動機会の創出に努めた。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	「アプロス菊川」の活動に対し、今後も継続的に運営支援を行っていく。	
今後の取組課題 又は改善点	「アプロス菊川」は体育協会の傘下で運営されている。今後も、体育協会との連携により、アプロス菊川による企画運営事業に対して、どのように協力できるか検討し、必要に応じて協力を行い自立支援を行っていく。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供	
施策名 (中分類)	スポーツ施設の整備・管理 【⑨-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者によるスポーツ施設の維持管理及び貸出を実施する。 和田公園テニスコート照明灯をLEDに変更するなど、施設の計画的な整備を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。また、和田公園テニスコート照明灯のLED化工事等を実施し、施設改修に努めるとともに、感染対策として菊川運動公園野球場トイレの洋式化工事を実施した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>市民へのスポーツの機会提供のため、市内小中学校施設の貸し出し業務を行った。また、市民総合体育館のLED化工事等を実施し、施設改修に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、体育館へ網戸の設置やトイレの洋式化工事を実施し、施設予約システムを導入した。令和2年度から新たに5年間の指定管理の契約を体育協会グループと締結した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>令和3年8月から、インターネットによる施設予約申請を開始した。利用者に配慮したシステム運用が図られるよう、システム改修を検討する。また、小中学校体育館の貸出を適正に実施するため、引き続き、使用者へ施設利用上のルールの周知及び各小・中学校と連携を図っていく。</p>	

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供	
施策名 (中分類)	スポーツ推進に係る調査・審議 【⑨-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ振興基本計画庁内連絡会を開催する。 スポーツ推進審議会を開催する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>本市スポーツ振興基本計画の進捗管理については、庁内連絡会での事業成果や改善・問題点等の検証結果をスポーツ推進審議会へ報告し、意見・指摘を反映することができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	<p>本市スポーツ振興基本計画の進捗管理については、庁内連絡会での事業成果や改善・問題点等の検証結果をスポーツ推進審議会へ報告し、意見・指摘を反映することができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>引き続き、庁内連絡会を開催し、進捗状況の確認を行い、検証を行った上、スポーツ推進審議会へ諮っていく。また、令和4年度でスポーツ振興基本計画が終了となるため、令和4年度中に第2次スポーツ振興基本計画を策定する。</p>	

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
⑩ 子どもの読書活動の推進 (図書館)	(1) 読書習慣の定着	ア 子ども読書活動推進計画の着実な実施と推進会議の開催	
		イ ブックスタート事業	
	(2) 学校図書館と公立図書館の連携	ア 学校司書巡回事業	
		イ 団体貸出の推進	
		ウ 子ども司書の養成と活動促進	
	(3) 移動図書館の充実	ア 移動図書館巡回事業	
		イ 利用者カードの促進	
	(4) 青少年サービスの充実	ア ボランティア・インターンシップの支援	
		イ YAコーナーの充実	
	(5) 子ども向けイベントの充実	ア こども図書館事業	
		イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業	
		ウ おはなし会等	
	⑪ 読書機会の提供と読書活動のすすめ (図書館)	(1) 多様な図書館サービスの提供	ア バリアフリーサービス
			イ 多文化サービス
			ウ 予約・リクエストサービス
エ 協力貸出・相互貸借の推進			
(2) 課題解決や多様な学習活動等の支援		ア レファレンスサービス機能の充実	
		イ 特設コーナー等の充実	
		ウ パスファインダーの充実	
(3) 情報通信技術(ICT)の活用		ア SNSを通じた情報発信	
		イ ホームページの充実	
		ウ インターネットサービスの提供	
⑫ 読書環境の整備 (図書館)		(1) 計画的な資料収集と蔵書管理	ア 図書館資料の充実
			イ 地域資料等の収集とデジタル化
	ウ 不用図書等の有効活用		
	(2) 専門性を備えた職員の育成	ア 専門的な研修等への参加促進	
		イ 職員のスキルアップ強化	
	(3) 市民協働による図書館運営の推進	ア 図書館ボランティア等への支援	
		イ 図書館ボランティア人材の育成	
	(4) 効果的な図書館運営の検討	ア 図書館運営の推進及び検証(図書館協議会)	
		イ 自主財源確保に向けた取り組みの充実	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	読書習慣の定着【⑩-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	第三次菊川市子ども読書活動推進計画に沿って、7か月児相談時にブックスタートを実施し、幼少期からの読書習慣の定着を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催する。 7か月児相談の場で親子にブックスタートパックの配布を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>関連機関と協議を行い、第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づく事業を推進した。また、まん延防止重点措置等の期間を除き、7か月児相談の場で親子にブックスタートを実施した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	関連機関と協議を行い、第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づく事業を推進した。	
今後の取組課題 又は改善点	第三次菊川市子ども読書活動推進計画に沿って施策を実行していくにあたり、各施設や各団体との連携・協力を密に行う必要がある。また、令和4年度には第4次菊川市子ども読書活動推進計画を策定する。	

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	学校図書館と公立図書館の連携【⑩-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書が市内小中学校を月2回程度巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行う。 菊川市子ども司書養成講座を開催し、菊川市子ども司書を認定する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>図書館司書による市内小中学校の巡回訪問は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、日程の変更はあったがほぼ目標どおり進めることができた。 菊川市子ども司書養成講座は、まん延防止重点措置の期間であったため、感染拡大防止のため中止した。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い講座開催時期等の変更はあったが、ほぼ目標どおり進めることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	学校図書館の活用等について、学校と打合せを重ねていく必要がある。団体貸出については、サービス内容の周知を広く行うことで、利用を伸ばしていきたい。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	移動図書館の充実【⑩-(3)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・なかよし号による市内小学校への巡回貸出を実施し、年間4,500冊以上の貸出を目標とする。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、9月と1月下旬から3月のなかよし号の巡回を中止したことにより貸出冊数は3,178冊で目標の約70%に留まった。今年度なかよし号とは別にこども園に巡回し、園児に読書に親しむ機会の提供に取り組んだ。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、なかよし号の巡回数が計画の約90%に留まったこと、各校の時間割見直しにより巡回時間が短くなったことから貸出冊数は目標に達しなかったが、子どもたちが読書に親しむ機会の提供に取り組んだ。	
今後の取組課題 又は改善点	巡回車に搭載する本を定期的に入れ替える等、子どもたちがもっと利用したくなる巡回車になるよう事業の充実に取り組む。	

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	青少年サービスの充実【⑩-(4)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・小中高生ボランティア、高校生職業体験、大学生インターンシップを受け入れる。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、計画していたインターンシップは2日間だけの開催となった。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、募集そのものが中止となった事業があった。また、開催した事業は感染対策を講じた上で実施した。	
今後の取組課題 又は改善点	読書離れが著しい世代に対して図書館の魅力を発信する手段として、SNS等を活用していく。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進			
施策名 (中分類)	子ども向けイベントの充実【⑩-(5)】	担当課・係 図書館 図書1・2係		
施策の目的	子どもたちに図書館や本の世界に親しむきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間に、こども図書館フェスタを開催する。 012歳児おはなし会、すいようおはなし会、日曜おはなし会を開催する。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<p>まん延防止重点措置の期間中は中止、日程の変更となったものがあるが、こども図書館フェスタ、各種おはなし会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら新しい生活様式の中で事業を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	中止、延期となったものもあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら新しい生活様式の中で事業を実施した。			
今後の取組課題 又は改善点	引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での事業実施となる。参加者が安心して参加できるよう、類似した企画を持つ部署や、他市町の情報を収集しながら、新しい生活様式を踏まえた講座・イベントの実施につなげたい。			
教育委員会による自己評価				
施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ			
施策名 (中分類)	多様な図書館サービスの提供【⑪-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係		
施策の目的	すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。			
教育委員会による自己評価				
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 予約受付数10,000件以上、リクエスト受付数1,000件以上を目標とする。 年間の相互貸借冊数:1,600冊(内訳 貸出冊数600冊、借受冊数1,000冊)を目標とする。 			
令和3年度実績評価 (施策評価)	<ul style="list-style-type: none"> 予約受付数は18,414件、リクエストは1,001件であった。 相互貸借は1,692件(貸出841件、借受は851件)であった。 郷土資料や専門性の高い本を県内外から借り受け、市民のニーズに応えることができた。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和2年度実績評価	郷土資料や専門性の高い本を県内外から借り受け、市民のニーズに応えることができた。			
今後の取組課題 又は改善点	予約やリクエスト、相互貸借を活用する利用者に偏りがみられる。制度やさまざまな予約方法を周知する必要がある。			

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ	
施策名 (中分類)	課題解決や多様な学習活動等の支援【⑪-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの調査依頼に図書館資料を利用して回答する、レファレンスサービスを実施する。 月1～2回程度、特集コーナーを更新する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスは3,564件であった。小説や自然科学に関する請求が多かった。 季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を42回実施した。 	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	情報提供の機会をつくり、市民の学習活動の支援を行うことができた。	
今後の取組課題 又は改善点	レファレンスについて、内容を分析しながら各館の利用傾向を把握していく。	

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ	
施策名 (中分類)	情報通信技術(ICT)の活用【⑪-(3)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館公式Twitterから各館120件以上発信する。 図書館のイベント情報等をホームページに掲載し、情報発信を80回以上行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館公式Twitterの発信回数は菊川文庫175回、小笠図書館321回であった。 ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を99回行った。 	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、ホームページやTwitterを用いた情報発信機会は増えたが、臨時休館や滞在時間等の利用制限によりWi-Fi接続回数は目標を下回った。	
今後の取組課題 又は改善点	より多くの市民に情報提供ができるようホームページやSNSを活用した情報発信を実施する。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	計画的な資料収集と蔵書管理【⑫-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊本の購入や寄贈資料の受入、書架整理を行う。 ・郷土資料の積極的な収集及び両館に所蔵する資料のデジタル化を行う。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・受入8,904点(内新刊本購入6,619点、寄贈等2,285件)であった。各館それぞれ書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。 ・両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。県立中央図書館、市図書館それぞれのホームページ10件を公開した。 	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化し、県立中央図書館、市図書館それぞれのホームページで公開した。	
今後の取組課題 又は改善点	菊川文庫は「中高生、シニア世代向け」、小笠図書館は「子育て支援、多文化」に重点を置いた資料収集を行う。	

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	専門性を備えた職員の育成【⑫-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な研修等への積極的な参加を促進し、参加した研修の内容や成果を職員間で共有する。 	
令和3年度実績評価 (施策評価)	担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。	
今後の取組課題 又は改善点	菊川文庫、小笠図書館両館のサービスに差が出ないよう、両館の各サービス担当ですり合わせを実施する必要がある。	

令和3年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	市民協働による図書館運営の推進【⑫-(3)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書に関するボランティア活動の場を創出・提供し、市民との協働による図書館運営を目指す。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	読み聞かせボランティアグループと協働した事業展開により、市民と一体となった図書館運営に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、おはなしステーションは中止した。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	読み聞かせボランティアグループと協働した事業展開により、市民と一体となった図書館運営に取り組んだ。	
今後の取組課題 又は改善点	図書館サポーター・ボランティアの人員を増やせるよう、今後も育成・支援等の機会を設ける必要がある。	

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	効果的な図書館運営の検討【⑫-(4)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上を図るために図書館協議会を開催し、図書館のあり方等について検討する。	
教育委員会による自己評価		
令和3年度評価指標 (事業計画・目標)	・図書館の適切な運営のため、図書館協議会を3回開催する。 ・自主財源確保に向けた取り組みとして、雑誌スポンサーを募集する。	
令和3年度実績評価 (施策評価)	・図書館協議会では図書館活動の推進に繋がる審議を行うことができた。 ・雑誌スポンサーを募集し、3社(堀之内タクシー、DAI建築設計事務所、セガワ不動産)獲得した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和2年度実績評価	図書館協議会では図書館活動の推進に繋がる審議を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、静岡県図書館大会は中止となり、参加できなかった。	
今後の取組課題 又は改善点	引き続き、図書館協議会を開催し、効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上等について、協議・検討を進める。 また、雑誌スポンサーについて、企業等への呼び掛けを今後も続けていく。	

外部評価

教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価
教育委員会の活動及び運営状況について ・教育委員としての資質向上が求められている時代です。従って、県も各自治体も、もう少し教育委員の研修会を増やした方がいいと思います。各委員が学ぶ機会が少ないと思います。
教育委員会の活動に対する点検評価結果について ・教育委員会の定例会を傍聴される方がいらっしゃいますが、傍聴された方の意見、感想等を聞く機会を設けてはいかがでしょうか。 ・学校及び教育施設訪問で、限られた時間ですので難しいかもしれませんが、各学校、各施設からの課題、要望事項を伺う時間を多く取っていただきたい。
教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価結果について ・特に問題ありません。

こども政策課に対する外部評価
①幼児教育・保育の質の向上 ・各種の研修会、研究会への参加、保護者との連携、親子のふれ合い等により、幼児教育・保育に関する質の向上が図られていると思います。近年、社会の急激な変化に伴い、保護者の価値観も多様化しています。従って、保護者との連携も多様な方法、形態が求められていると思います。 ・幼児期は、様々な体験を通して、感動や楽しさ、満足感等を味わい、またやりたいという意欲の積み重ねをしていくように思います。職員の皆様方が、園内研修をはじめ、各種研修会等を通して計画的、継続的な教育を実施して下さったお陰で、子ども達の確かな育ちにつながったことがよく分かりました。日々のご努力に心から感謝いたします。今後もよろしくお願いいたします。 ・園行事や地域の方との連携等、通常のように行えなかったからこそ、改めて行事の意図ややり方、地域との関係等を見直す機会になったのでは。例年通りの良さにプラス新しい発想を取り入れ、乳幼児にとって生活を豊かにしていけるきっかけ(経験)を今後も計画して行ってください。 ・子どもも親も多様化し、職員の保育力の向上が更に求められます。今後も、引き続き自己研鑽し、専門職として自信を持って保育を楽しんでいけることを期待しています。
②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 ・幼児教育における地域社会、各保育機関、小中学校との連携は、大変重要であり、今後もより連携を密にして、幼児教育に取り組んでいただきたいと思います。 ・コロナ禍の中でのふれあい活動や交流の実施に、大変苦慮されたことと思います。そんな中で、内容や方法を工夫しながら実施して下さったことが分かりました。様々なふれあいの機会を通して、子ども達が自己肯定感や人と関わる心地良さ、楽しさ、人の役に立つ嬉しさなどを、心に積み重ねていけるよう願っております。今後もよろしくお願いいたします。 ・保幼小の連携は、幼児が小学校へ入学する期待を大きくしたり、スムーズな移行に繋がったり、効果は大きいと感じます。日々多忙な中ではありますが、今後も継続して行ってください。

<p>学校教育課に対する外部評価</p>
<p>①中学校区等を核とした学びの環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育「学びの庭」構想は、すばらしい取り組みであるので、今後とも、これを推進していただきたい。ただ、菊川市民の認知度が心配である。広報等で、この構想について、説明したらどうか。 ・コロナ禍での活動となり、活動内容について「今できる事」を模索し、取り組みを行っていただいた事に感謝しております。「学びの庭」構想として、まだ基礎固めの段階かと思いますが、この取り組みが根付き、子ども達の将来のための「実社会で活用できる力」が育まれる事を期待しております。
<p>②ICT環境を生かした魅力ある授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きくがわ21世紀型授業」、「主体的・対話的で深い学びのある授業」、この文言を聞いて、すぐ理解できる市民は少ないと思われます。具体的に、どんな授業を目指して確かな学力を身に付けさせようとしているのかを、広報等で説明したらどうか。 ・急速な変化が求められる情報化社会において、ICT機器を活用した授業は必要不可欠であると感じています。しかしながら、メリットがあると同時にデメリットも多々あり、危険性やセキュリティへの理解、身体に与える影響についても子ども達が理解を深められるよう、ご配慮いただきたい。
<p>③思いやりに満ちた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、福祉教育、いじめのない学校経営、心の教育の推進等、きめ細かく、よく努力されていると思います。全ての基本は、子どもの「心の痛み」を理解できる教師を育てることだと思います。 ・心の問題が大きく、子ども達の声に耳を傾け、それぞれの問題や価値観に切り込む必要があり、先生方への負担が心配されます。生徒だけでなく、保護者の意識調査、外部機関との連携が可能であれば、ご検討いただきたい。
<p>④「一人ひとりが生きる教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒への教育支援については、「虹の架け橋」や各学校のご努力により、一定の成果が得られていると思います。ただ、日本語能力に個人差があるので、個別指導が必要だと思います。また、外国籍の保護者が、土日に日本語を学べる機会を検討していったらどうか、と思います。 ・多様化した社会において、ダイバーシティ&インクルージョンとしての取り組みが企業でも多く進められている中で、子ども達も将来必要とされる価値観として、「一人ひとり」という意味を理解できるよう進めていただきたい。
<p>⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員を育成していくことは大事ですが、原点は、教師一人ひとりが、「自己研鑽の必要性を認識できているか」と考えます。 ・高い成果が得られていると思います。一方で、基準となっている「信頼」とは何か、児童生徒がどう考えているのか、どう評価すべきかが課題なのかなと感じます。

教育総務課・学校給食センターに対する外部評価

⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

- ・施設、設備の老朽化が全般的に進んでいるとのこと。長期的な視野で、予防的、計画的な修繕に取り組む必要があると思われます。
- ・今後も災害に強い校舎を維持できるよう、定期的な点検やメンテナンスを行っていただきたいと思いません。
- ・施設の老朽化に対する修繕は必要な対応です。できる限り、安全で快適な学校施設の維持に努めて欲しいです。

⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

- ・経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、今後とも継続して充実した就学支援が必要と思われます。
- ・ひとり親世帯の増加や、コロナ禍、食品の値上げなど、経済的に苦しい家庭はこれからも増えると思うので、児童生徒が安心して就学できるように、就学援助費、特別支援教育就学奨励費の支給を今後も行っていただきたいと思いません。
- ・コロナ禍で、安全で安心して教育が受けられる環境づくりのために必要とされることの幅は更に広がっているように思います。

⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

- ・今後とも、学校給食における衛生管理体制の徹底と、食育、地産地消の推進を期待しております。
- ・今後もしばらく新型コロナウイルス感染症の影響で黙食などの対策がとられると思いますが、その中でも、児童生徒が給食を楽しめるように、地元食材を知ったり、栄養素に興味関心を持てるような取組を今後も行っていただきたいと思いません。
- ・食材や光熱費など色々な値上げで、給食の提供も大変だと思いますが、地産地消を更に推進させ、満足できる給食の提供に努めて欲しいです。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

①地域で子どもを守り育てる

- ・「ふるさと未来塾」、「児童生徒のボランティア活動」等、素晴らしい取り組みだと思います。これらの活動内容、活動状況について、市民に広報等で情報提供していただきたい。
- ・従来より続いたドッチボール大会に対する保護者の評価は大事にしたい。全校が参加を楽しみにするような交流事業を常に追及されたい。
- ・アンケート収集(Web含む)拡充は評価できる。アンケートの集約結果を広く市民に提供されたい。
- ・ボランティア活動への意識はどのような状況にあるのか、実態を知りたいと思う。
- ・体験交流のメニューを、夏山ハイキングや防災宿泊体験などに見直したらどうか。
- ・基本的に、全校を対象として地域美化活動や収穫体験を実施して欲しい。

①地域で子どもを守り育てる

・新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校の協力を得にくいですが、今後は学校との協力を十分に得た活動をしていただきたい。

・地域と子どもと一緒に学べる良い行事が、祭典である。祭典中または始まる前に、太鼓の練習や踊りの練習で、時間の厳守や仲間内の思いやり、ルールなどを学べる。更に祭典中も、祭典のルールや老若男女を問わず挨拶をし合うことも自然に身に付く。本年はどうやら開催されそうだが、新型コロナウイルスの感染対策をしっかりとらねばならない。

②家庭の教育力向上

・「家庭教育学級」で、話題、課題となったような内容について、市民に広報等で情報提供していただきたい。

・家庭教育支援員が増えた事は喜ばしいことである。支援員をさせていただき、何回か幼稚園や小学校にお邪魔させてもらった。保護者の皆様からの質問や、子育てに関する戸惑いなどに触れることができた。また、自然と意見を言い合い、学び合う姿も見られるようになった。

・子育てに対する教育、情報共有は、もっと拡大していただきたい。在宅(Web)による少人数の講座の回数を増やすと参加しやすいし、質問もしやすくなると思います。

社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

③生涯学習活動の推進

・高齢者にとって、「ステップ講座」や「ことぶき講座」は、自分の視野を広げることができる大切な機会です。今後とも、多くの高齢者が参加できる様に各講座の内容を充実していただきたい。

・これからますます高齢化社会になっていくと思う。今まで90歳までは、と言っていたのが、いつの間にか100歳までは、と言われていきます。生涯学習で、ステップアップ講座やことぶき講座などに自分で運転して会場まで行ける人は良いのですが、会場まで行けない高齢者の生涯学習活動をどうするかが難しいと思う。もう既にやってくださっているかも知れませんが、各地区の生涯学習推進員と、高齢者の生涯学習活動について検討していただきたい。

・新型コロナウイルス感染対策の下、事業の縮小等やむを得ない状況と思います。日頃感じることは、「ことぶき講座」の呼称が年寄りを強調されているようで、少し気になります。また、「ステップアップ講座」は、見ず知らずの人といきなり受講は少し敷居が高く感じてなりません。あらかじめ、地区センターなどで気の知れた地元の者同士の事前学習(講座)などを済ませてから受講なら、と思います。

・生涯学習推進員の役割、活動について、地区役員名簿には選出者が記載されていますが、活動等が見えません。地区センター祭り等で一緒に会場づくりをする程度です。市内各地区の活動事例等を紹介していただき、活かしていけたらと考えます。

・何かやってみたくて思っている人達は多いはずなので、是非多くの講座を開設して欲しいと思います。ただ、受講生は圧倒的に女性の数が男性に比べて多い。今は男性も女性も区別なく参加できるので、その点も考慮して企画して欲しい。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

④鑑賞機会の提供

・「文化会館アエル」に行ってみたいと思うようなイベントを企画して欲しい。市民の文化振興を図ることがアエルの目標だと思いますが、この「文化」について、市民が本当に「求めている文化」なのか、検討していく必要があるかと思います。

・文化会館アエルでの「鑑賞機会の提供」について、いろいろと計画してくれてありがたく思います。

・指定管理者の(株)SBSプロモーションが工夫し頑張っている様子が伺える。地元のおやじバンドやアエルサポーターの支援もありがたく思う。一市民としても応援したい。

・経年劣化を考慮した修繕費の50万円上積み(250万→300万円)に納得です。利用者&来訪者の満足を追及されたい。(事前期待<実質評価=満足、事前期待>実質評価=不満)

⑤市民の文化・芸術活動への支援

・天候に左右された写生大会から、幅広い年齢層の参加を狙っての絵画コンクールであったが、高齢者施設の絵手紙出展も辞退が多かった。常に反省に立って、新たなテーマやその対策、手段に工夫を加えて進化させたい。

・文苑きくがわの継続を望むが、原稿集め等、従来の組み立てを見直して、幅広い年代層の投稿を期待したい。

社会教育課（文化振興）に対する外部評価

⑥文化財の保存・周知・活用

・指定文化財の市民への周知、活用を強化する必要がある。文化財マップ、文化財ガイドブック、文化財ウォーキング、スタンプラリーなどに加えて、「広報菊川」を利用できないかと思う。「広報菊川」は各戸配布であり、多くの市民が目を通すので、毎号一定のスペースを確保して指定文化財の紹介記事を載せれば、約2年で市内の指定文化財全てを紹介できる。

・指定文化財の所在地に、分かりやすい案内板、小学生でも理解できる説明板を設置する必要がある。

・菊川市埋蔵文化財センターのアドバイスにより、横地城の御城印を発行することができました。感謝します。

・中世の山城である横地城は、長い間忘れられた存在だったが、昭和44年に奥横地の故鈴木鉄太郎氏の私費による発掘調査により作成された鳥瞰図により、その姿が明らかになった。その後、県立自然公園及び国の史跡に指定され、これを受けて菊川市は「史跡菊川城館遺跡群整備委員会」を発足させ、保存計画を検討し、ついに本年3月に「史跡菊川城館遺跡群整備基本計画」が策定された。菊川市埋蔵文化財センターの御尽力に厚く御礼申し上げます。

社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

・今年はコロナ禍2年目の年であった。昨年同様、体育協会の「シニア体操教室」は中止となった。会場となる総合体育館が、新型コロナウイルス感染症の予防接種会場となったためである。そのために、いつも体育館を使用して運動していた人達が運動できない状況になっていたため、他に使用できる施設があったらと思う。

・新型コロナウイルス感染症により、事業縮小となったことは残念である。今後、県の施策を見ながらできる事業から執行して欲しい。

・誰もがスポーツに触れあう機会を創出し、運動する人を増やすことについて、運動する人は、1人で何種類もスポーツを楽しんでいます。市民のスポーツ人口を把握したい場合、延べ人数では分かりません。市民の運動習慣の実施率を高めるため、データの解析が必要になるのではないかと思います。

⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

・8月17日(火)に中央公民館にて、パラリンピックの採火式に出席させていただいたが、大変良い体験をした。

・バーレーン王国との交流という事で、体育協会会長としてメッセージを送った。これからも何らかの形で交流ができれば良いと思う。

・市町対抗駅伝大会出場のため、半年にわたって練習、準備をしているが、参加した人達の大きな成長を感じる。

・新型コロナウイルス感染症により、事業縮小となったことは残念である。今後、県の施策を見ながらできる事業から執行して欲しい。

⑨スポーツ活動の場の提供

・「スポーツ活動の場の提供」について、総合体育館が使用できなかったことは大きかったと思います。また、堀之内体育館の雨漏りについても困っております。速やかに、新しい体育館の建設を進めていただけるよう願います。

・インターネットによる施設利用予約申請について、今の利用状況はどうか。施行前と施行後の利用状況は。インターネット開始から約1年が経ちますが、より利用しやすいように、予約システムを改善しながら執行していただけるようお願いいたします。

図書館 事務事業に対する外部評価

⑩子どもの読書活動推進

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、計画の変更や中止を余儀なくされることが多かったと思いますが、多方面にわたり御尽力されていました。

・静岡県図書館大会は中止となりましたが、第3分科会の「絵本から一人読みへのステップアップ”自分から読みたくなる”を育てるために」に、オンラインで参加させていただきました。内容がすばらしく本当に感銘を受けました。対面であつたらどんなに良かったらうと、また、現場の幼、保、小の先生方も聴けたらどんなに心を打たれたらうと思いました。ぜひ、こんな講演を聴ける場が年1回でもあればいいな、と思いました。新型コロナウイルス感染症が収束し、教育現場が落ち着いて実践に取り組めるようになることを願っています。

⑪読書機会の提供・読書活動の啓発

・現代に合わせた色々なサービスをされていることが分かりました。

⑫読書環境の整備

・菊川文庫と小笠図書館、それぞれの特徴を生かした取組が良いと思います。今後の取組に期待しております。

・展示室、視聴覚室の点検、整備が必要だと思う。展示室は、蛍光灯が100%の状態ではないため、展示ケースの照明具の更新が必要。視聴覚室は、マイク、スピーカーなど旧型で有線マイクのため、不便を感じる。

総評:教育委員会全般について

- ・教育行政全般にわたり、大変よく努力されていると思います。
- ・最近、全国的に課題として取り上げられているが、児童生徒の通学用ランドセルが重すぎるのではなかろうか。4～5kgあり、特に低学年の児童は大変だと思います。
- ・スクールガード制度について、このままでいいのか課題等もあります。一度、この制度について検討会を実施したらどうか。
- ・富士市で開始された電子図書館、菊川市も検討の方向でしょうか。
- ・月一回、「教育委員会だより」を発行したらどうか。各幼小中学校における児童・生徒の活動状況、課題等を紹介し、市民への理解を深める機会としたい。
- ・報告書を読ませていただき、教育行政に携わる皆様のお陰で菊川市の子ども達が健全に育っている事を感じました。大変有難いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・子ども、地域、学校と、縦と横のつながりや心のケア、時代に合わせた取組等、様々な課題に取り組んでいただき感謝しております。価値観が多様化し、個として様々なニーズが生まれる中で、市の方向性として答えを出すのが難しくなっている時代ですが、いかに価値の共有がされるかが大切だと思います。今の取組が継続され、さらなる発展に結び付くよう願っています。
- ・今後、少しずつ新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和され、ここ数年できていなかった行事もできるようになっていくと思います。引き続き感染対策をしながら、より良い教育委員会の活動をしていっていただきたいと思います。
- ・近年、陸上大会や合唱の発表が無くなり残念に思っていたところに、新型コロナウイルス感染症の影響により教育活動の縮小などを余儀なくされ、仕方のないことだとは思いますが、その中でいかに子ども達に必要な教育が受けられるか、教育委員会も頑張ってくれていることと思います。これからも、子ども達が充実した教育を受けられるよう知恵を出し合っていくことが必要だと思います。
- ・菊川文庫2階の旧町史編さん室が、現在総務課の倉庫的なものとして利用されているが、「市史資料室」、「郷土資料室」として位置付け整備し、利用することが必要だと思います。菊川に関する歴史情報を収集し、市内外からの様々な問合せなどに対応していくようにすべきと思います。効果を高めるために、職員を配置することも大事だと考えます。ご検討を切望します。
- ・教育委員と社会教育委員との意見交換会開催をお願いしたい。
- ・英語支援講師の人達と教育委員会との会合を、年度初めと年度終了時の少なくとも年2回行って欲しい。
- ・小中一貫教育「学びの庭」構想の取組について、中学校区での様々な企画が感染対策をとりながら行われている。学校によっては外部からの入校を許可しない徹底対策を取っているが、これからは少し緩和されていくと思われる。交流はとても良い教育実習を学ぶ機会である。
- ・家庭教育の一環として、年中行事をどれだけ家庭でやっているか。はたして家庭歳時記をどれだけ知っているか。家庭で好きなようにすれば良いというのならそれまでだが、日本には日本独自のすばらしい行事が沢山ある。それを知るだけでも親子で語り合えるのでは。
- ・数年前にこども未来部が発足し、市内では次々に幼保連携型認定こども園が立ち上げられているが、教育委員会とこども未来部の関係が見えてこない。縦割り行政ではなく、文字通り「連携」して、子ども達のために活動して欲しい。



教育委員会自己点検・評価報告書

令和 4 年 7 月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒 437 - 1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-1119

E-mail : kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp